



病院NEWS

no.
362
2014
08/01



The Hospital News.Faculty of Medicine Kagawa University



ささえる、つながる、リードする。
香川大学医学部附属病院
KAGAWA UNIVERSITY HOSPITAL

香川県木田郡三木町池戸1750-1 発行人／病院長 横見瀬 裕保

病院機能評価の認定について

経営・評価担当副病院長 平尾 智広

平成26年2月に訪問審査を受けました病院機能評価について、この度、無事認定となりました。中間的な結果報告(H26.4)の段階でC評価は無く、補充審査は不要となりスムーズに認定を取得できました。評価項目は、平成25年4月から新バージョン(3rdG:Ver.1.0)となり、患者さんが医療を受ける流れや病院の業務の流れに即した評価など、より実質的な評価の形態となっています。その典型であるケアプロセスにおいては、医師、看護師のみならず全職種の方達の連携によって好評価をいただき、特にチーム医療は高い評価を受けました。評価「S」(秀でている)の項目は一般病院で5つ、精神科病院で2つ取得し、新バージョンで認定を受けた国立大学病院の中で、評価「S」の数は現時点でトップを維持しています。(H26.6.12現在で公開されている情報による)



▲認定書(一般病院)



▲認定書(精神科病院)

がん診療連携拠点病院シリーズ 第4回「緩和ケア地域連携クリティカルパス」

中核病院機能強化支援室

国のがん対策推進基本計画では「全てのがん患者とその家族の苦痛の軽減と療養生活の質の維持向上」を目標とされており、がん患者に対し地域連携に基づく在宅緩和ケアを推進し、住み慣れた場で、患者の希望に応じた緩和ケアの提供体制を構築することが決定されています。香川県がん診療連携協議会では、在宅療養支援体制の確立を推進するため、平成24年8月30日に既存の緩和医療・相談部会をそれぞれ独立させ、緩和医療部会に在宅緩和ケア専門部会を設置しました。在宅緩和ケア専門部会では、

- (1) 香川県の在宅療養支援診療所等のリスト及び在宅緩和ケア連携を患者家族に示せる在宅緩和ケアマップの作成
- (2) 症状緩和を目的とした緩和ケア連携の地域連携クリティカルパスの作成
- (3) 拠点病院内の緩和ケアチームと在宅緩和ケアを専門とする医師等による、がん性疼痛管理を中心とした緩和ケアに関する研修会の開催

などの業務を行います。

緩和医療部会長の細川敦之先生(三豊総合病院緩和ケア科長)を中心に在宅緩和ケア地域連携クリティカルパスを作成し、6/1から運用を開始しております。当パスは紹介医療機関から受入れ医療機関へ、患者の情報を伝えるツールとして作成しています。診療情報提供書の添付文書として使用し、医師だけでなく看護師やMSWなどの多職種で入力します。また、「わたしのカルテ」を添付し、在宅療養中の患者の意思表示ツールと療養記録として使用します。

「香川県在宅緩和ケア地域連携パス(案)」、「パスの使用方法」、「在宅緩和ケアパス使用後アンケート」は香川県がん診療連携協議会のホームページ(<http://www.med.kagawa-u.ac.jp/~gan/kyougi/index.html>)からダウンロードできます。なお、当パスに関するご質問は下記事務局までご連絡ください。

事務局：
〒761-0793香川県木田郡三木町池戸1750-1
香川大学医学部附属病院 中核病院機能強化支援室
香川県がん診療連携協議会事務局 (事務担当 木村)
TEL:087-891-2452(ダイヤルイン)
FAX:087-891-2412
E-Mail: ganshien@med.kagawa-u.ac.jp

ホームページをリニューアル

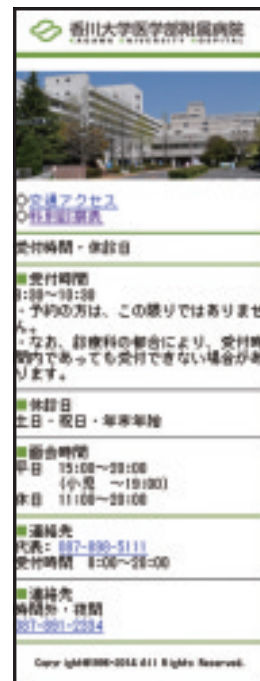
総務課

これまでのホームページは、メニューやボタンがトップページに多く偏っていたため利用しづらい状況で、また、10年近く前の設計のためスマートフォン・タブレット（本院ホームページの閲覧者の4割ほど）などの最近の機器に対応できていませんでした。そこで、昨年度より検討を進めて、南病棟稼働と診療科の再編（内科・外科の専門分化）の時期に合わせ6月30日からホームページをリニューアルしました。

新しいホームページの特徴をいくつかご紹介します。

- ・スクールカラーのオリーブグリーンを基本とした色合い。
 - ・メニューやデザインを利用者目線で使い勝手を優先。
 - ・スマートフォン向けと携帯電話向け（一部）のページを作成。
 - ・病院の掲載内容が検索できる。
 - ・写真やグラフの拡大・スライドショー機能で、画像を見やすく。
- 今後は、掲載内容をますます充実させていきたいと思います。
なお、ホームページアドレスが変わりました。リンクされている方は、お手数ですが変更をお願いします。

<http://www.med.kagawa-u.ac.jp/hosp/>



▲スマートフォン向けページ

▲携帯電話向けページ

◀ ホームページ

かがわ医療情報ネットワーク（K-MIX+）への参加について

医療情報部 副部長 上村 幸司

香川大学医学部附属病院は、「かがわ医療情報ネットワーク:K-MIX+ (Kagawa Medical Information eXchange plus)」に参加し、平成26年1月下旬から運用開始しています。K-MIX+（ケイミックスプラス）とは、平成15年より運用されているK-MIX（遠隔読影診断や患者紹介を中心とした医療情報ネットワーク）を、厚生労働省の「地域医療再生基金」プロジェクトを活用して機能拡張したもので、中核病院の電子カルテ情報を病院・診療所間で共有し、診療に役立てる仕組みです。運営は、香川大学の協力の下、香川県と香川県医師会が行っています。

K-MIX+の導入により、複数の中核病院を受診した患者さんの、病院毎の診療情報（治療歴、処方歴、検査歴など）を、あたかも一つのカルテのように統合して連続的に参照できます（※患者の同意のもとで）。その結果、連携先の医療機関は、紹介先の中核病院で行われた診療内容や治療経過を正確に把握できるため、逆紹介で戻ってきた患者さんに安心して治療を受けてもらえます。また、処方歴が参照できるので、二重投薬や飲み合わせの確認などが容易になり、安全な処方を行うことが可能です。さらに、検査歴も共有しているので、すでに他院で行った同じ検査を行うことが無くなり、検査に伴う説明や同意を繰り返す必要もなく、患者さん・医療者双方の負担軽減につながります。

K-MIX+を利用する際、患者さんの費用負担は一切ありません。患者さんの個人情報、患者さんの同意が無い限り他院に対して共有化されることはなく、共有化された後も、患者さんの希望で非開示にすることができます。また、個人情報保護には、国が定めている基準に沿った、高いセキュリティレベルが確保されています。

K-MIX+を有効利用することで、より安全で質の高い診療を医療機関は行うことができ、かつ、患者さんはそれを受けることができます。

咽頭がんとうイルス感染

耳鼻咽喉科・頭頸部外科 准教授 星川 広史

がんとうイルスに関しては、肝臓がん(HCV)、成人T細胞白血病(HTLV-1)などが有名ですが、がんの15-20%程度でウイルスの関与があるといわれています。耳鼻咽喉科領域でも上咽頭がんとうEpstein-Barr(EB)ウイルスとの関連が古くから指摘されてきましたが、最近では中咽頭がんとうヒトパピローマウイルス(HPV)の関連が注目されています。HPVは150種類以上もあるといわれるありふれたウイルスですが、そのうちの何種類かが発がんとう強い関連があるとされ、子宮頸がんではほぼ100%がHPVの感染であることが明らかになってきました。耳鼻咽喉科領域のがん(頭頸部がん)は、従来は喫煙、飲酒がリスクファクターとされ、現在でも多くの場合で当てはまりますが、喫煙や飲酒歴がなく(もしくは軽度)、比較的若年である、女性にも発生するなど、従来の原因とは異なる中咽頭がんが増加し、その原因がHPV感染らしいことが明らかになってきました。近年の日本の調査でも中咽頭がんの約半数にHPVの感染が疑われることが報告されています。以前から中咽頭、特に扁桃に発生するがんは、放射線や抗がん剤がよく効き、予後が良いとされていましたが、これらの大半はHPVの感染によって起こったがんであると考えられます。このように、治療にはよく反応し予後が良いと考えられるHPV関連咽頭がんですが、子宮頸がん同様、性行為感染症の一種でその予防が重要です。子宮頸がんに対する若年女子のワクチン接種が推奨される中、副作用の問題などで日本でのHPVワクチン接種率は伸び悩んでいるようです。一方、海外では男性へのHPVワクチン接種を推奨する動きもあり、オーストラリアでは男児へのワクチン接種も無料化されているそうです。最も大切なのがんの多くがウイルスなどの感染が契機になることがあり、生活習慣の改善やワクチンの接種などで予防が可能であることを知ることだと思います。

毎日新聞「四国健康ナビ」H26.6.18掲載分を一部改稿いたしました。

爪は「内臓の鏡」、爪の異常は皮膚科へ

皮膚科 助教 森上 徹也

爪は皮膚が変化した組織であり、皮膚の一部です。皮膚科には爪のトラブルを抱えた患者さんが数多く来院されます。その多くは、爪の水虫や、化膿などの感染症であり、これらは抗菌剤の飲み薬や塗り薬で治療します。また、爪の形の変化で、隠れた内臓の病気を知ることもできます。例えば肺に病気があると爪は丸く盛り上がり、貧血では爪が凹みます。爪は「内臓の鏡」でもあるのです。さらに、爪に現れる黒い線の中には、まれに皮膚がん(悪性黒色腫)が見つかることがあります。

また、最近では「巻き爪」の患者さんが増えています。巻き爪の悪化原因で多くみられるのが、深爪や先の尖った靴を履くことです。特に深爪は、短く切った爪が皮膚に食い込みやすく、症状をさらに悪化させるので禁物です。巻き爪の予防には、適度に爪を伸ばすことが必要です。

病院での巻き爪の治療は、症状の重さにより異なります。軽症の巻き爪は、正しい爪切りやテーピングの指導、足に合った靴を履くことによりよくなります。爪が皮膚に食い込んだ中等症の巻き爪では、専用の金具や樹脂を使って、爪の形を整える治療を行います。これらの治療は保険外になります。爪が深く皮膚に食い込んで、皮膚がひどい炎症を起こしている重症例でも、まずは爪の形を整える治療を行い、それがうまくいかない場合に、根治手術を検討します。現在では爪の食い込んでいる部分だけを切除する「部分抜爪(フェノール法)」が主流で、日帰りで治療が可能です。当科では上記の治療法を取り揃え、ほとんどのタイプの巻き爪に対する治療を行っています。

皆様も、爪に関するトラブルがありましたら、お気軽に最寄りの皮膚科専門医にご相談下さい。

毎日新聞「四国健康ナビ」H24.9.26掲載分を一部改稿いたしました。

第8回セタコンサートを開催

医事課

平成26年7月2日(水)18時30分から第8回セタコンサートを開催しました。

4組の出演者が、入院患者さん達の気分転換を図ってくれました。総勢7名でのフラダンス、ソプラノ独唱、医学部学生ダンス部によるジャズとロックのダンス、讃州讃岐よさこい連「き和み」のよさこい踊り、例年にない踊りであつという間のひとときでした。



▲セタコンサート

臨床研究に関するご案内

医学部倫理委員会委員長
医薬品等臨床研究審査委員会委員長

香川大学医学部附属病院では、診療に伴って取得した患者さんの貴重な個人情報を含む記録や尿・血液等の検査試料、生検組織(内視鏡検査で検査のために採取した組織等)又は摘出組織等の試料が発生します。

それら記録試料等を本院は、医療機関としてだけでなく、教育研究機関として所定の目的に利用させていただきたいと思っておりますので、患者さんのご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

前向き研究(研究を立案、開始してから新たに生じる事象について調査する研究)に患者さんの情報を利用する場合は、書面により患者さんの同意をいただくことといたします。後向き研究(過去の事象について調査する研究)の場合は下記URLに示しております。

利用目的の中に同意しがたいものがある場合は、1階外来ロビー内個人情報相談窓口または各診療科までお申し出ください。特段のお申し出がない場合は、上記の利用目的のために患者さんの個人情報を利用することに対して同意が得られたものとさせていただきます。

●臨床研究に関するご案内URL

<http://www.med.kagawa-u.ac.jp/hosp/about/rinsyo/>

イベントカレンダー H26.8～10月 予定表

月日	時間	場所	名称及び内容	担当	連絡先
8/2 土	9:40～16:30	高松国際ホテル	第13回緩和医療に関する集中セミナーin香川	腫瘍センター	(087)891-2075
8/3 日	12:00～16:00	サンポートホール高松	第7回四国リンパ浮腫治療懇話会・リンパ浮腫市民公開講座	形成外科・美容外科	(087)891-2198
8/4 月	18:00～19:15	医学部管理棟4階会議室1	緩和ケア学習会・緩和ケアエキスパート研修	腫瘍センター	(087)891-2054
8/23 土	10:00～17:00	医学部附属病院	手術体験セミナー	手術部	(087)891-2283
9/9 火	14:00～15:15	病院地下1階 患者図書室 オリーブの郷	肝臓病教室	地域連携室	(087)898-2417
9/19 金	14:00～16:00	病院地下1階 患者図書室 オリーブの郷	がん患者サロンセミナー	がん相談支援センター	(087)891-2473
9/20 土	13:30～16:45	かがわ国際会議場	平成26年度 日本肝臓学会 肝がん撲滅運動一市民公開講座一	消化器内科	(087)891-2156
10/6 月	18:00～19:15	医学部管理棟4階会議室1	緩和ケア学習会・緩和ケアエキスパート研修	腫瘍センター	(087)891-2054

平成
27年度

看護職員募集

看護師・助産師

80名募集

受付期間

平成26年7月1日(火)～
平成27年1月13日(火)

試験日

7月19日土

8月22日金

10月24日金

11月28日金

平成27年1月23日金

応募締切日

7月8日火

8月12日火

10月14日火

11月18日火

平成27年1月13日火

編集委員会 (50音順)

荒井(検査)、一條(経営)、岡田(総務)、
加藤(放射線)、白神(麻酔)、中妻(看護)、
濱本(外来)、芳地(薬剤)、松本(看護)、
村上(病棟)、安友(管理)、横井(情報)、
吉野(医事)
〔委員長 横見瀬病院長〕

お問合せ先 087-891-2013(医学部総務課人事係)